



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月6日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL <http://www.impressholdings.com/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）関本 彰大
 問合せ先責任者 （役職名）取締役/執行役員CFO （氏名）山手 章弘 TEL 03 (5275) 9011
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
26年3月期第2四半期	5,020	△8.7	△134	—	△128	—	△174	—
25年3月期第2四半期	5,499	△1.5	144	△1.9	108	△5.7	131	△45.6

（注）包括利益 26年3月期第2四半期 △186百万円（－％） 25年3月期第2四半期 453百万円（89.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△5.10	—
25年3月期第2四半期	3.71	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
26年3月期第2四半期	12,776	8,010	62.2	232.34
25年3月期	12,944	8,127	62.3	235.71

（参考）自己資本 26年3月期第2四半期 7,943百万円 25年3月期 8,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.80	0.80
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期（予想）	—	—	—	0.40 ～1.00	0.40 ～1.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	10,400 ～10,600	—	△50 ～50	—	△100 ～30	—	△2.92 ～0.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 6「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の摘要」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	37,371,500株	25年3月期	37,371,500株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,183,586株	25年3月期	3,180,846株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	34,189,720株	25年3月期2Q	35,379,610株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づくレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における主な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

前連結会計年度において持分法適用の関連会社でありました㈱メディカルトリビューンは、平成25年2月において、株式の一部を譲渡し、関連会社ではなくなりました。同影響により、第1四半期連結累計期間より、医療セグメントは当社の連結範囲から除外されております。

事業セグメント区分	事業区分		事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱インプレスR&D ㈱インプレスビジネスメディア ㈱インプレスジャパン ㈱Impress Watch 英普麗斯(北京) 科技有限公司
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
		ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	
	サービス事業		販促物等の受託制作及びその周辺サービス	
音楽 (音楽分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱リットーミュージック
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍、映像製品等の企画制作、販売及び広告収入等	
デザイン (デザイン分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱エムディエヌコーポレーション
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱山と溪谷社
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍、映像製品等の企画制作、販売及び広告収入等	
モバイルサービス (モバイル関連のメディア及びサービス事業)	メディア事業	ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱ICE ㈱デジタルディレクターズ
	サービス事業		電子書籍の企画制作、モバイル端末向けサービスの企画・開発・運営等	
その他			出版事業等、電子出版等の事業開発及びR&D	㈱近代科学社 Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 出版営業支援及び物流・販売管理等	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱インプレスコミュニケーションズ

(当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント利益は、経常利益をベースとしております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、電子書籍の市場拡大を背景に電子書籍等のデジタルコンテンツの販売が好調な推移となり、IT分野のターゲットメディア事業が成長するなど新規の事業開発に一定の成果がありましたが、IT分野のデジタル広告及び出版事業における雑誌及び書籍の販売の減少に加えて、大型季節商品であるカレンダーの出荷時期が下半期に先送りとなった特殊な事情も重なり、大きな減収となりました。

これらの結果、売上高は前年同期（5,499百万円）比8.7%減の5,020百万円となりました。また、コスト削減に努めたものの減収を補えず、経常利益は前年同期（108百万円）に比べ236百万円減少し、128百万円の経常損失となりました。前年同期は投資有価証券の売却等による特別利益111百万円が計上されておりましたが、当第2四半期連結累計期間における特別利益の発生は限定的となり、四半期純利益は前年同期（131百万円）から305百万円減少し、174百万円の四半期純損失となっております。

①IT

■メディア事業

デジタルメディアにつきましては、電子書籍市場の拡大により、電子書籍等のコンテンツ販売が増加しましたが、主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等の広告収入が減少し、減収となりました。

出版メディアにつきましては、デジタルカメラ関連の出版物の販売は堅調に推移したほか、広告収入は前年同期並みの水準となりましたが、雑誌及びPC入門書籍等の出荷が減少し、減収となりました。

ターゲットメディアにつきましては、登録顧客向けのメディア事業が主な事業であり、広告収入や手数料収入が収益の中心となっております。同事業につきましては、登録顧客向けのターゲット広告等の関連サービスが堅調に推移し、増収となりました。

これらの結果、メディア事業の売上高は、ターゲットメディアが堅調に推移したものの、デジタル及び出版メディアの減収により、前年同期（1,867百万円）比9.1%減の1,698百万円となりました。

■サービス事業

サービス事業は、販促物等の受託制作及びセミナー等のサービスが中心となっております。

受託制作等のサービスにつきましては、中国の市場環境の変化に伴う中国市場向けの制作受託等の減少をターゲットメディアと連携したセミナーのイベント収入等で補い、増収となりました。

これらの結果、サービス事業の売上高は、前年同期（436百万円）比1.0%増の440百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、ターゲットメディア事業が堅調な推移となったものの、デジタル及び出版メディアの減収により、前年同期（2,304百万円）比7.1%減の2,139百万円となりました。セグメント利益では、減収をコスト削減で補えず、前年同期（42百万円）と比べ76百万円利益が減少し、34百万円の損失となりました。

②音楽

■メディア事業

当第2四半期連結累計期間につきましては、月刊誌「サウンド&レコーディング・マガジン」のデジタル（iPad）版のリリースや楽器購入者向けの購買支援サイト「楽器探そう！デジマート」のリニューアル等によりデジタルメディアの売上が好調な推移となりましたが、雑誌をはじめとした出版メディアの販売等の減少により、減収となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、出版メディアの減収により、前年同期（1,160百万円）比11.6%減の1,026百万円となりました。セグメント利益では、減収をコスト削減で補えず、前年同期（24百万円）と比べ49百万円利益が減少し、24百万円の損失となりました。

③デザイン

■メディア事業

当第2四半期連結累計期間につきましては、電子書籍等のデジタルコンテンツ及びデジタル広告が堅調に推移いたしました。書籍の出荷減少及びムックの刊行の遅れ等による出版メディアの販売等の減少により、減収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（365百万円）比11.1%減の325百万円となりました。セグメント利益では、減収と収益性の低下により、前年同期（22百万円）と比べ52百万円利益が減少し、30百万円の損失となりました。

④山岳・自然

■メディア事業

当第2四半期連結累計期間につきましては、電子書籍等のデジタルコンテンツ及び登山情報サイト「YAMAKEI online」の広告収入等でデジタルメディアは好調な推移となり、出版メディアにおいても既刊書籍は堅調な推移となりましたが、書籍の刊行の遅れ等による売上の減少に加え、大型の季節商品であるカレンダーの出荷が下半期に先送りとなった特殊な事情も重なり、減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（1,216百万円）比13.2%減の1,056百万円となりました。セグメント利益では、減収をコスト削減で補えず、前年同期（288百万円）と比べ40.4%減の172百万円の利益となりました。

⑤モバイルサービス

モバイルサービスセグメントは、モバイル端末向けのコンテンツ制作、配信ソリューション及び関連サービスの提供が中心となっております。当第2四半期連結累計期間につきましては、フィーチャーフォン向けサービス市場の縮小により、運営及び制作受託収入が減少いたしました。新たな成長領域であるスマートフォン向けのコミック関連サービス及び電子書籍の制作受託等の新規事業の増収で補い、前年同期並みの売上高となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（355百万円）比0.7%減の353百万円となりました。セグメント利益では、原価の増加が影響し、前年同期（32百万円）と比べ46.4%減の17百万円の利益となりました。

⑥その他

その他セグメントにつきましては、電子出版等の事業開発による売上の増加及び理工系大学向けの書籍販売の増加等により、売上高は前年同期（69百万円）に比べ19.6%増の83百万円となりました。セグメント利益では、増収により、前年同期（13百万円損失）から15百万円利益が増加し、2百万円の利益となりました。

⑦全社

全社セグメントは、グループの戦略策定及び経営管理等の機能を担う当社と、物流・販売管理機能を担う株式会社インプレスコミュニケーションズが区分されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分につきましては、売上高は、パートナー出版社との協業の拡大により、手数料収入が増加いたしました。グループ会社からの配当収入が減少したことなどにより、前年同期（780百万円）比18.1%減の639百万円となりました。全社セグメントの利益は、前年同期（8百万円）から96百万円利益が減少し、87百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節的変動要因により仕掛品が150百万円増加し、売上債権の回収等により現金及び預金が461百万円増加いたしました。出版販売の減少により受取手形及び売掛金が871百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ168百万円減少し、12,776百万円となりました。負債につきましては、有利子負債の返済等により、50百万円減少し4,766百万円となりました。純資産につきましては、四半期純損失を計上したこと等により、117百万円減少し8,010百万円となりました。

純資産から新株予約権及び少数株主持分を引いた自己資本は7,943百万円となり、自己資本比率は62.2%と前連結会計年度末(62.3%)と同水準となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、税金等調整前四半期純損失134百万円の計上に加えて、たな卸資産の増加により168百万円支出いたしました。売上債権の回収が進んだこと等により資金が880百万円増加したため、営業活動で538百万円の資金を獲得しました。投資活動では、満期保有目的債券の償還により資金が98百万円増加したものの、固定資産の取得に106百万円支出したため、20百万円の資金が減少しております。また、財務活動においては、有利子負債の減少により59百万円支出したことに加えて、配当金の支払により26百万円支出したため、86百万円の資金が減少しております。

以上により、当第2四半期連結累計期間において獲得した資金は、前年同期に比べ299百万円増加し、4,602百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2014年11月1日に業績予想を修正しております。

上半期の特殊な減収要因となった大型の季節商品(カレンダー)につきましては、下半期に順調に出荷されており、通期では同影響は解消される見通しです。また、直近の業績動向を受けコスト削減の施策等も着手しておりますが、当上半期に弱含みに推移したIT分野のデジタル広告、雑誌等の販売については回復が遅れる見通しです。

なお、業績予想の下限のレンジでは、大型の季節商品である年賀状関連ムックの返品リスク、書籍販売等の下振れのリスクを織込んだ予想となっております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,140,528	4,602,007
受取手形及び売掛金	3,974,490	3,103,480
有価証券	1,194,854	1,298,779
商品及び製品	1,040,164	1,058,819
仕掛品	98,125	248,767
繰延税金資産	88,164	85,149
その他	143,545	127,368
返品債権特別勘定	△28,500	△26,500
貸倒引当金	△11,661	△12,137
流動資産合計	10,639,711	10,485,735
固定資産		
有形固定資産	146,437	188,910
無形固定資産		
ソフトウェア	153,244	164,520
その他	14,547	14,154
無形固定資産合計	167,792	178,674
投資その他の資産		
投資有価証券	1,612,525	1,540,736
繰延税金資産	54,511	41,485
その他	575,542	363,969
貸倒引当金	△251,723	△22,723
投資その他の資産合計	1,990,856	1,923,468
固定資産合計	2,305,086	2,291,053
資産合計	12,944,797	12,776,789

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,413,713	1,415,621
短期借入金	675,100	725,100
1年内償還予定の社債	40,000	64,000
1年内返済予定の長期借入金	439,336	375,432
未払法人税等	49,200	55,308
賞与引当金	132,361	141,310
返品調整引当金	202,705	206,351
その他	728,623	714,625
流動負債合計	3,681,039	3,697,749
固定負債		
社債	—	136,000
長期借入金	360,628	158,264
繰延税金負債	95,189	60,482
退職給付引当金	678,580	712,283
その他	1,425	1,425
固定負債合計	1,135,823	1,068,454
負債合計	4,816,862	4,766,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	2,199,308	2,199,308
利益剰余金	960,282	855,519
自己株式	△619,206	△619,576
株主資本合計	7,881,405	7,776,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172,142	124,482
為替換算調整勘定	5,578	42,356
その他の包括利益累計額合計	177,721	166,839
新株予約権	16,840	16,840
少数株主持分	51,967	50,632
純資産合計	8,127,934	8,010,585
負債純資産合計	12,944,797	12,776,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	5,499,966	5,020,914
売上原価	3,355,924	3,263,235
売上総利益	2,144,042	1,757,679
返品調整引当金繰入額	50,005	1,646
差引売上総利益	2,094,036	1,756,033
販売費及び一般管理費	1,949,403	1,890,285
営業利益又は営業損失(△)	144,633	△134,251
営業外収益		
受取利息	10,024	8,397
受取配当金	7,130	1,137
為替差益	—	6,194
貸倒引当金戻入額	—	520
その他	6,089	5,787
営業外収益合計	23,245	22,037
営業外費用		
支払利息	9,784	8,803
持分法による投資損失	41,678	—
為替差損	7,109	—
その他	782	7,149
営業外費用合計	59,355	15,952
経常利益又は経常損失(△)	108,523	△128,167
特別利益		
投資有価証券売却益	99,717	2,102
新株予約権戻入益	11,646	—
特別利益合計	111,364	2,102
特別損失		
固定資産売却損	7,220	—
固定資産除却損	1,453	—
減損損失	—	8,412
その他	700	—
特別損失合計	9,373	8,412
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	210,514	△134,477
法人税等	75,283	41,224
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	135,230	△175,701
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,746	△1,335
四半期純利益又は四半期純損失(△)	131,484	△174,366

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	135,230	△175,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	315,555	△47,659
為替換算調整勘定	2,656	36,778
持分法適用会社に対する持分相当額	24	—
その他の包括利益合計	318,236	△10,881
四半期包括利益	453,467	△186,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	449,721	△185,247
少数株主に係る四半期包括利益	3,746	△1,335

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	210,514	△134,477
減価償却費	73,147	56,213
減損損失	—	8,412
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,286	33,702
賞与引当金の増減額(△は減少)	429	8,725
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,500	—
返品調整引当金の増減額(△は減少)	44,305	3,646
返品債権特別勘定の増減額(△は減少)	5,700	△2,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	472	1,476
受取利息及び受取配当金	△17,155	△9,535
支払利息	9,784	8,803
為替差損益(△は益)	6,239	△4,603
持分法による投資損益(△は益)	41,678	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△99,717	△2,102
売上債権の増減額(△は増加)	64,356	880,153
たな卸資産の増減額(△は増加)	△216,269	△168,586
仕入債務の増減額(△は減少)	180,147	△89,808
その他	12,046	△74,835
小計	333,464	515,184
利息及び配当金の受取額	24,603	13,933
利息の支払額	△9,770	△9,344
法人税等の還付額	66,594	73,708
法人税等の支払額	△80,748	△55,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	334,143	538,219
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△264,465	△701,892
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	510,590	800,000
関係会社株式の売却による収入	—	5,800
有形及び無形固定資産の取得による支出	△73,920	△106,495
貸付けによる支出	△68,900	—
貸付金の回収による収入	8,233	246
その他	525	△18,154
投資活動によるキャッシュ・フロー	112,063	△20,495

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△125,000	50,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△256,534	△266,268
社債の発行による収入	—	197,182
社債の償還による支出	△32,000	△40,000
自己株式の取得による支出	△200,223	△369
配当金の支払額	△70,310	△26,956
財務活動によるキャッシュ・フロー	△284,067	△86,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	30,165
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	162,240	461,478
現金及び現金同等物の期首残高	4,152,756	4,140,528
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,314,996	4,602,007

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	医療	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,304,187	1,160,738	365,977	—	1,216,979	355,512	5,403,394	69,466	27,104	5,499,966
セグメント利益又はセグメント損失	42,090	24,947	22,007	(41,678)	288,731	32,057	368,157	(13,326)	(246,306)	108,523

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等、電子出版等の事業開発及びR&Dが含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額△246,306千円には、事業セグメント以外の売上高53,826千円、セグメント間取引消去△26,721千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△279,638千円、その他調整額6,226千円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結財 務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,139,457	1,026,040	325,298	1,056,280	353,005	4,900,082	83,100	37,731	5,020,914
セグメント利益又はセグメント損失	(34,262)	(24,810)	(30,474)	172,094	17,184	99,731	2,433	(230,332)	(128,167)

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業、電子出版等の事業開発及びR&Dが含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の経常損失と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額△230,332千円には、事業セグメント以外の売上高61,078千円、セグメント間取引消去△23,346千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△276,033千円、その他調整額7,969千円が含まれております。

4. 医療セグメントは、㈱メディカルトリビューンの株式の一部を譲渡し、関連会社でなくなったため、報告セグメントから除外されております。